SystemGear
All Products For Build Up System

ＰＤＣ－０１８　取扱説明書
ＵＳＢインターフェース

SystemGear
All Products For Build Up System

日本システム開発株式会社

D0803-0
ZER8400140A

－目　次－

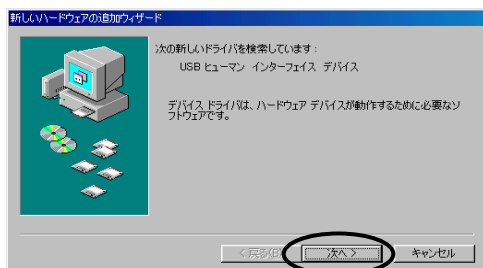
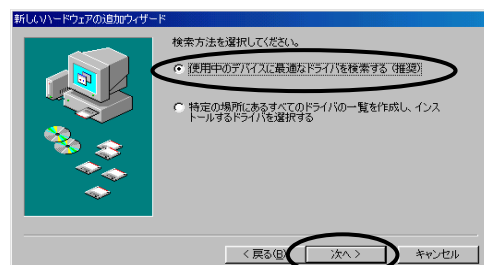
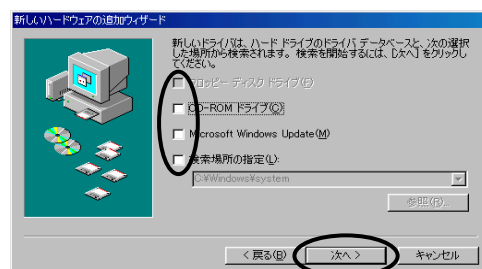
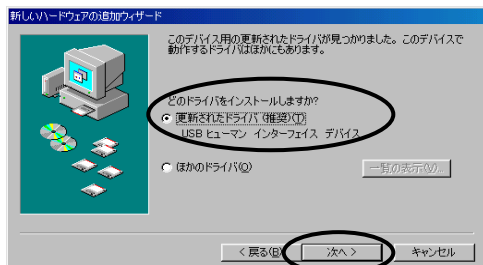
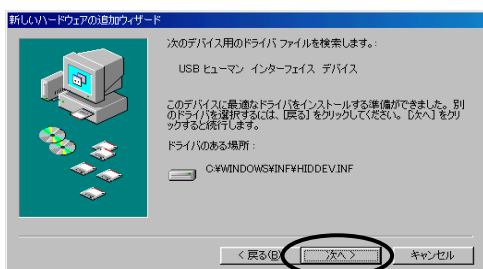
1　インストール方法

ここでは、Windows98SE での画面を用いてインストールの手順を説明します。
他の OS でも、ダイアログ表示が多少異なりますがほぼ同じ手順です。
（Windows95 においては、USB ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽに対応されておりません。Windows98 以上へのアップグレードが必要です。）
パソコンによりましては、インストールされている Windows の CD-ROM が必要な場合がありますので、この CD-ROM をご準備ください。

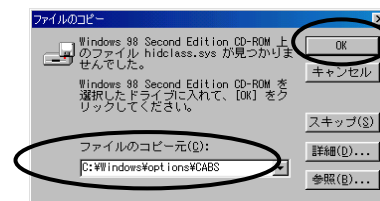
以下にインストールの手順を示します。
但し、ＯＳによっては自動的にインストールされますので、この場合は以下の手順を必要としません。

①パソコン（以下は PC と記述）の電源を投入し、Windows を起動してください。

②スキャナのケーブルを PC に接続してください。

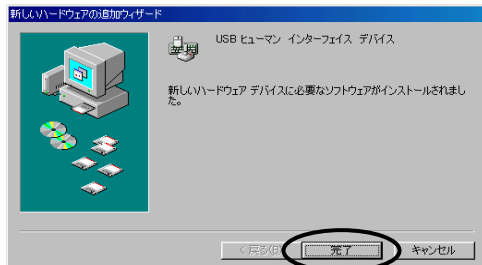
PC のディスプレイ画面に「新しいハードウェア」のダイアログが数秒表示された後、下記のウィザード画面が表示されます。
「次へ」のボタンをクリックしてください。

③「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、「次へ」のボタンをクリックしてください。

④チェックマークは付けずに「次へ」のボタンをクリックしてください。

⑤「更新されたドライバ（推奨）」にチェックマークを付け、「次へ」のボタンをクリックしてください。

⑥「ドライバファイルを検索します。」と表示された後、「次へ」のボタンをクリックしてください。

〈ファイルが見つからなかった場合〉

「次へ」のボタンをクリックした後、「ディスクの挿入」の画面が表示される場合があります。これはインストールされるファイルが見つからなかった場合に表示されます。
対処方法としてまず「ＯＫ」ボタンを押してください。

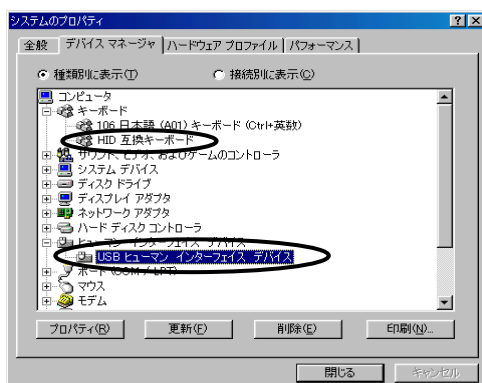
「ファイルのコピー元：」にフォルダ名を入力して「ＯＫ」のボタンをクリックしてください。但し、入力するフォルダ名は Windows によって異なります。

○Windows98、及び WindowsME の場合（下記の３通りをお試しください。）
- “C:¥Windows¥options¥CABS¥”
- “C:¥Windows¥system32¥Drivers”
- “C:¥Windows¥system”

○Windows2000 及び WindowsXP の場合
- “C:¥WinNT¥system32¥Drivers”
- “C:¥Windows¥system32¥Drivers”

以上の方法で解決できない場合は Windows の CD-ROM を挿入し CD-ROM からの指示に従ってください。

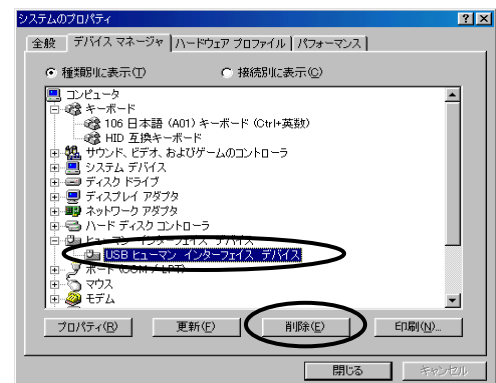
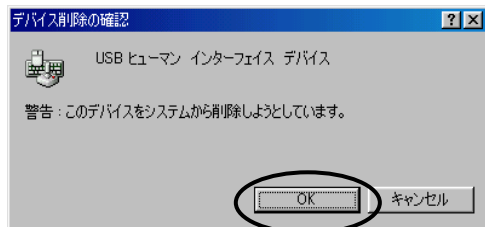
⑦「インストールされました。」と表示されますと「完了」のボタンをクリックしてください。

⑧インストールが完了すると、デバイスマネージャー（２項の①参照）には次の様に表示されています。

・「キーボード」に「ＨＩＤ　互換キーボード」または相当の表示

・ヒューマン インターフェイス デバイス」に「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」または相当の表示

2　アンインストール

ここではアンインストールの手順につて説明します。

①スキャナを PC に接続した状態でデバイスマネージャーを開いてください。
デバイスマネージャーはデスクトップの「マイコンピュータ」のプロパティ（右クリック）によって表示されます。

②「ＵＳＢヒューマン インタフェース デバイス」をクリックした後、「削除」のボタンをクリックしてください。

③「ＯＫ」のボタンをクリックするとアンインストールが開始されます。

３　インストール時のご注意点

通常本スキャナは、初めてＵＳＢポートに接続されると新しいデバイスとして検出され、前記のように設定を行うことにより、使用可能となります。但し、以下の場合はスキャナを再挿入してください。

・本スキャナのＬＥＤが点灯しない。
・本スキャナのＬＥＤは点灯するが読み取りができない。

－再挿入を行ったが正常動作しない場合－

・１項インストール方法の⑧のような表示がされているかご確認ください。

①存在する場合
「ﾋｭｰﾏﾝｲﾝﾀｰﾌｪｲｽﾃﾞﾊﾞｲｽ」の下に付いているものを全て削除のうえ、再挿入を行ってください。
前記１項のインストールが再開始されます。

②存在しない場合
本機を認識していません。

再挿入を行っても正常動作しない場合、本機を接続しようとしている機器側に不具合がある可能性があります。
他の機器にて本機が正常動作するかご確認ください。
それでも正常動作しない場合は、購入先にご相談ください。

４　概要

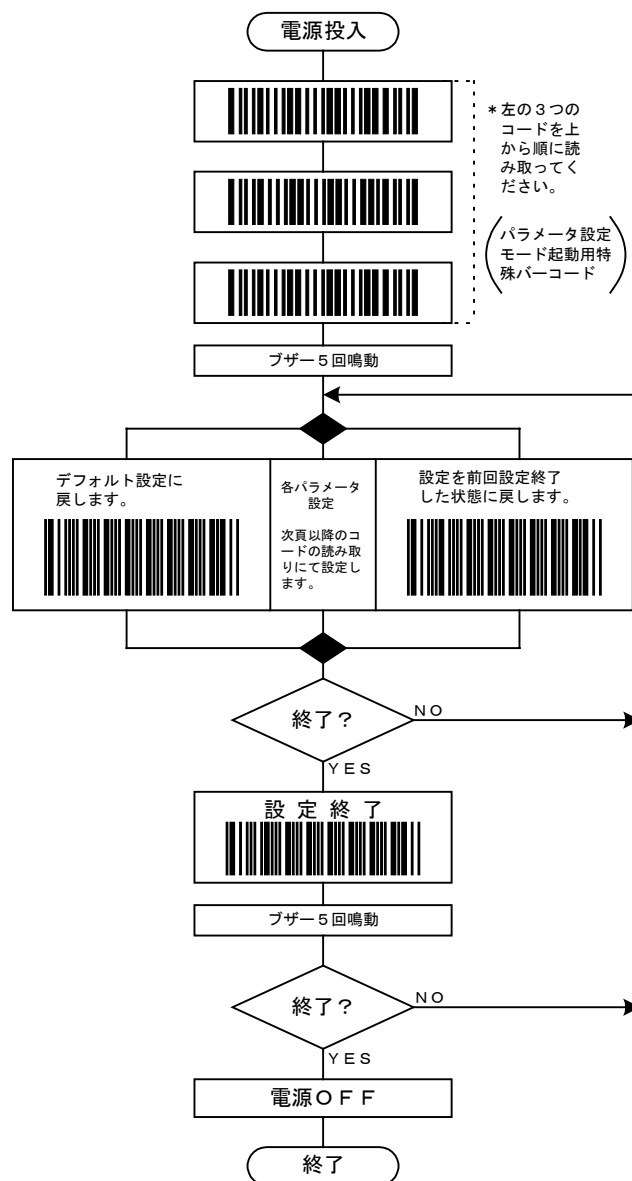
本スキャナは通信条件や読み取りデータ送信フォーマット及び各バーコードシンボル毎の読み取り条件を、バーコードを読み取らせることで設定を行うことができます。

スキャナの電源ＯＮ後パラメータ設定モード起動用特殊バーコード（右図の上３つのバーコード）を読み取ると、スキャナはパラメータ設定モードで動作します。
パラメータ設定モードでは、ＮＷ－７、７桁のバーコードにて、各種のパラメータを設定を行うことができます。

設定されたパラメータは″設定終了″のバーコードを読み取ることによって不揮発生メモリー（ＥＥＰＲＯＭ）に記憶され、電源ＯＦＦ後も保持されます。

パラメータ設定モードの解除は、一度電源をＯＦＦするか、パラメータ設定モードで使用しているＮＷ－７、７桁以外のバーコードを読み取らせることで解除されます。

注意
パソコンがカナモードではデータを正常に送信できません。
スキャナ使用時は英数字モードでご使用ください。

５　パラメータセッティングの流れ

６　各種設定項目

６．１　ＵＳＢキーボード設定

（１）国別設定

この設定をスキャナ接続の PC のキーボード仕様に合わせて下さい。

国別設定

JAPANESE ◀Default

US

＊＊＊＊注記＊＊＊＊

:工場出荷時設定

:選択可能設定

▶ :デフォルト設定

（２）Ｃａｐｓ Ｌｏｃｋ

スキャナが PC から送信されるＣａｐｓ Ｌｏｃｋインジゲータ情報を認識するか否かを設定します。

６．２ ヘッダ・ターミネータの設定

対応する矢印キーのキーコードをヘッダ
として送信します。

ヘッダ 「←」

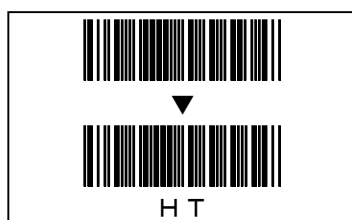
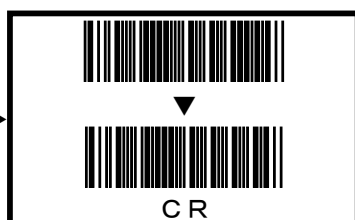
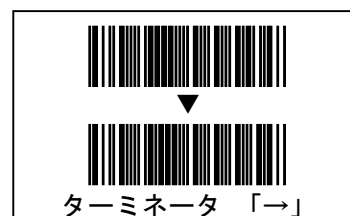
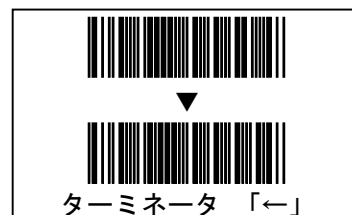
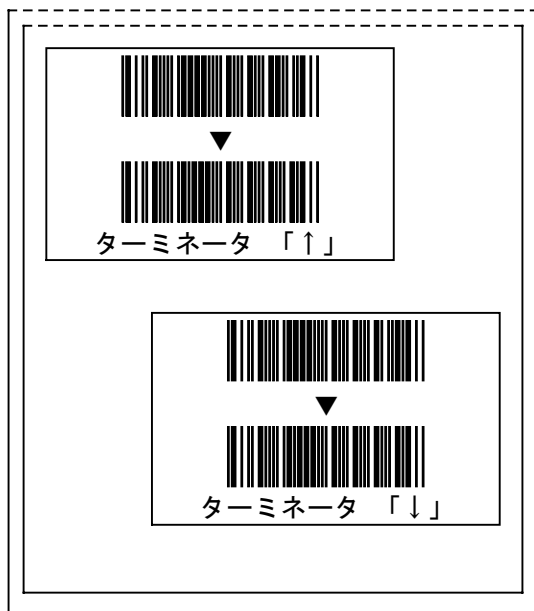
ヘッダ 「→」

ヘッダ 「↑」

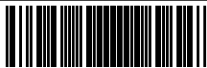
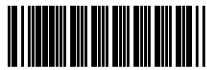
ヘッダ 「↓」

ユーザ選択１バイト

▼
▼

上のバーコード入力後、41頁「16進表」
でヘッダのアスキーコードを16進数で
入力してください。

ターミネータの設定
ターミネータなし
Default
CR
HT
-15-
対応する矢印キーのキーコードをターミネータ
として送信します。
２枚のラベルを順に読み取ってください。
ターミネータ 「←」
ターミネータ 「→」
-16-

ユーザ選択１バイト

▼

▼

１バイト目の設定
16進表（41頁）でアスキーコードを16進数で入力してください。「00」を設定するとターミネータなしで送信されます。

ユーザ選択２バイト

▼

▼

２バイト目の設定
16進表（41頁）でアスキーコードを16進数で入力してください。″ユーザ選択１バイト″の設定時は「00」を入力してください。

６．３　読み取りデータ桁数の付加及びシンボル種別コード

ＥＡＮ及びＵＰＣ以外の
シンボルデータの桁数

付加する

Default ▶
付加しない

シンボル種別コード

読み取りデータの前に
付加する

読み取りデータの後に
付加する

付加しない
◀ Default

シンボル種別コードの設定
〔シンボル種別コードを″付加する″時に有効なパラメータ〕
（シンボル種別コード表（21頁,22頁）参照）

シンボル種別コード表の設定１

シンボル種別コード表の設定２

シンボル種別コード表の設定３
◀ Default

ユーザ選択１バイト
シンボル種別コード表(22頁)で
入力してください。

＊シンボル種別コード表により、どのシンボルを設定するか入力し、次にシンボル種別コードのアスキーコードを16進表(41頁)で入力してください。

６．４　シンボル種別コード表

＊″ユーザ選択１バイト″の設定は、各シンボル毎に１バイトの種別コードをアスキーコードで設定します。
シンボル種別を右表のバーコードで選択後、アスキーコード（43 頁）を１６進数（41 頁）で入力してください。
設定できるアスキーコードは００，０１，０２及び２０～７Ｅの範囲です。

００入力時---そのシンボルには種別コードが付加させません。

０１入力時---’ＦＦ’２バイトの種別コードが付加されます。

０２入力時---’Ｄ３’２バイトの種別コードが付加されます。

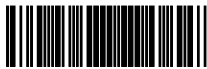
シンボル種別	設定 No. 1	設定 No. 2	設定 No. 3	ユーザ選択１バイト
ＥＡＮ－13	A	A	F	
ＥＡＮ－8	B	B	FF	
ＵＰＣ－Ａ	A	A	A	
ＵＰＣ－Ｅ	E	C	E	
ＮＷ－７	N	X	N	
ＣＯＤＥ39	C	Y	M	
ＩＴＦ	I	Z	I	
ＳＴＦ	H	H	H	
ＣＯＤＥ93	L	L	L	
ＣＯＤＥ128	K	K	K	
ＥＡＮ１２８	W	W	W	

６．５　各バーコードシンボル別のオプション

ＥＡＮ及びＵＰＣの読み取り

サプリメンタルコードを無視して読み取る ◀ Default

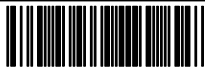
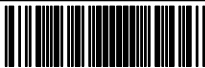
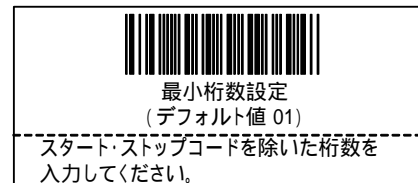
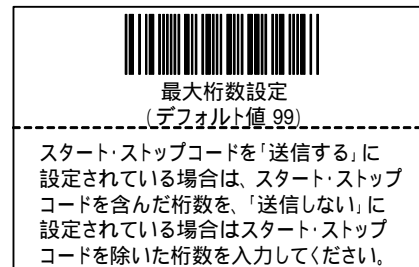
サプリメンタルコード付きのみ読み取る

サプリメンタルコードなし及び、サプリメンタルコード付きともに読み取る

読み取り禁止

ＵＰＣ－Ａのデータフォーマット
ＵＰＣ－Ａフォーマット
チェックディジット付
Default
ＵＰＣ－Ａフォーマット
チェックディジットなし
ＥＡＮ－１３フォーマット
チェックディジット付
ＥＡＮ－１３フォーマット
チェックディジットなし
ＵＰＣ－Ｅのデータフォーマット
ＵＰＣ－Ｅフォーマット
ナンバーシステム″０″付
Default
ＵＰＣ－Ｅフォーマット
ナンバーシステム″０″なし
ＵＰＣ－Ａフォーマット
ＥＡＮ－１３フォーマット
チェックディジット付
Default
チェックディジットなし

最大桁数設定
（デフォルト値 99）

スタート・ストップコードを含んだ桁数を
入力してください。

上のラベルを入力後、16進表（41頁）を用いて
01～99の範囲で10進数で入力してください。

CODE39
読み取り許可
Default
読み取り禁止
スタート・ストップコード
"＊"を送信する
Default
スタート・ストップコード
"＊"を送信しない
チェックディジットを照合する
Default
チェックディジットを照合しない

チェックディジットを送信する
Default
チェックディジットを送信しない
最小桁数設定
（デフォルト値 01）
スタート・ストップコードを除いた桁数を
入力してください。
最大桁数設定
（デフォルト値 99）
スタート・ストップコードを「送信する」に
設定されている場合は、スタート・ストップ
コードを含んだ桁数を、「送信しない」に
設定されている場合はスタート・ストップ
コードを除いた桁数を入力してください。
上のラベルを入力後、16進表（43頁）を用いて
01～99の範囲で10進数で入力してください。
読み取りモード
ノーマル読み取り
Default
CODE39 フルアスキー

Interleaved 2 of 5 (ITF)
読み取り許可
◀ Default
読み取り禁止
チェックディジットを照合する
Default ▶
チェックディジットを照合しない
チェックディジットを送信する
◀ Default
チェックディジットを送信しない

ラベルによる桁数自動設定
Default ▶
ラベルによる桁数自動設定なし
最小桁数設定
（デフォルト値 04）
最大桁数設定
（デフォルト値 99）
上のラベルを入力後、16進表（41頁）を用いて01
～99の範囲で10進数で入力してください。

上のラベルを入力後、16進表（41頁）を用いて01～99の範囲で10進数で入力してください。

ＣＯＤＥ９３

読み取り許可

◀ Default

読み取り禁止

最小桁数設定
（デフォルト値 01）

最大桁数設定
（デフォルト値 99）

上のラベルを入力後、16進表（41頁）を用いて01～99の範囲で10進数で入力してください。

ＣＯＤＥ１２８

読み取り許可

◀ Default

読み取り禁止

最小桁数設定
（デフォルト値 01）

最大桁数設定
（デフォルト値 99）

上のラベルを入力後、16進表（41頁）を用いて01～99の範囲で10進数で入力してください。

６．６ ブザーとＬＥＤの制御

６．７　スイッチモードの設定

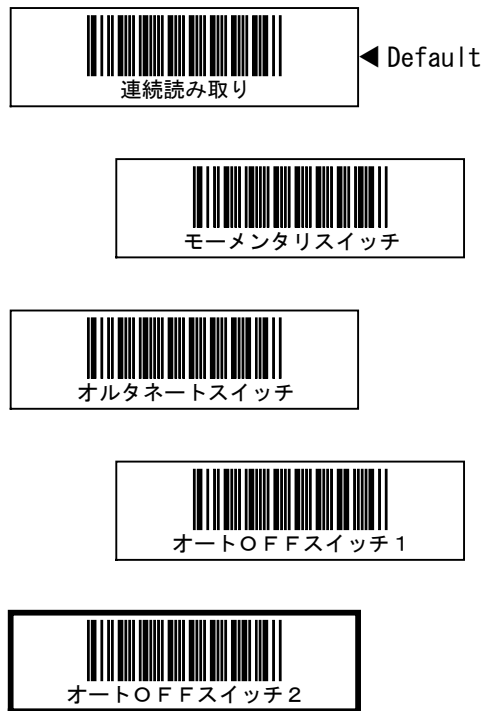
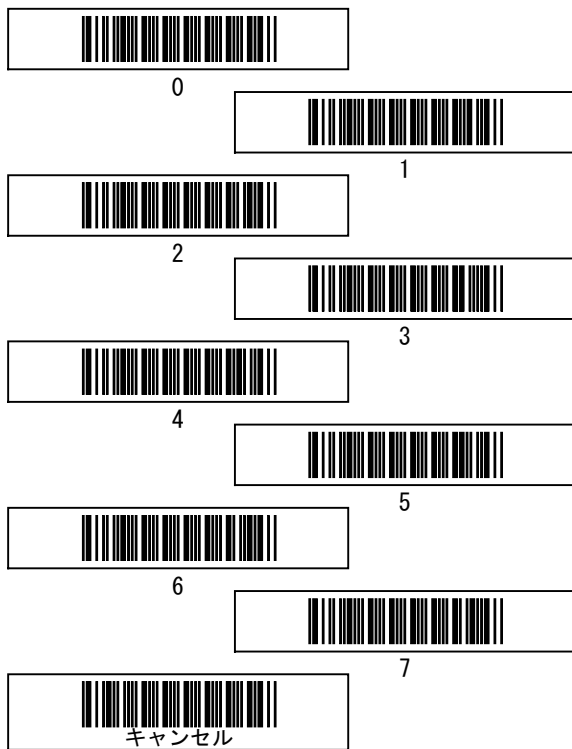
本スキャナには以下のスイッチモードがあります。

（１）連続読み取り
スイッチの監視を行いません。
（常時読み取り可能状態です）

（２）モーメンタリスイッチ
スイッチを押している間のみ照明ＬＥＤが点灯します。

（３）オルタネートスイッチ
スイッチを押し離し動作毎に照明ＬＥＤの点灯／消灯が切り替わります。

（４）オートＯＦＦスイッチ１
スイッチを押すと照明ＬＥＤが点灯します。
以下の条件で照明ＬＥＤが消灯します。
①バーコードを読み取り、データ送信を完了した時。
②スイッチを離してから５秒経過した時。

（５）オートＯＦＦスイッチ２
スイッチを押すと照明ＬＥＤが点灯します。
以下の条件で照明ＬＥＤが消灯します。
①スイッチを離してから５秒経過した時。
②最終読み取りデータを転送してから５秒経過した時。

７　１６進表

＊上の１６進表を使って上位、下位の順で入力し、最後に″設定″を入力します。
＊１０進数入力の場合は１０の位、１の位の順番に１６進数と同様に入力します。
このとき、Ａ～Ｆは入力しないでください。
＊途中で″キャンセル″を入力した場合は、その設定項目を最初から再入力してください。
＊″設定″を入力後の″キャンセル″入力は無効です。その設定項目を最初から再入力してください。

８　アスキーコード表

		上位							
		0	1	2	3	4	5	6	7
下位	0	NUL	DEL	SPACE	0	@	P	`	p
	1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
	2	STX	DC2	”	2	B	R	b	r
	3	ETX	DC3	＃	3	C	S	c	s
	4	EOT	DC4	$	4	D	T	d	t
	5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
	6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
	7	BEL	ETB	’	7	G	W	g	w
	8	B S	CAN	（	8	H	X	h	x
	9	H T	E M	）	9	I	Y	i	y
	A	L F	SUB	＊	：	J	Z	j	z
	B	V T	ESC	＋	；	K	［	k	｛
	C	F F	F S	，	＜	L	＼	l	｜
	D	C R	G S	－	＝	M	］	m	｝
	E	S O	R S	．	＞	N	＾	n	～
	F	S I	U S	／	？	O	＿	o	DEL

注）斜線の入っている制御コードは設定できません。

９　トラブルシューティング

本スキャナでのトラブルシューティングについて説明しています。
必要に応じてお読み下さい。

●スキャナを接続してトリガースイッチ（読み取りスイッチ）を押してもバーコード照明ＬＥＤが点灯しない。
・本スキャナはホスト側ＵＳＢポートから電源供給を受ける「High-power Bus-powered Devices」です。
本スキャナを接続するＵＳＢポートは、５００ｍＡのバス電源を供給できるポートとして下さい。
・本スキャナは出来る限りルートハブに接続して使用して下さい。
ＵＳＢハブを使用する場合、ＵＳＢハブは下に更にＵＳＢハブを接続することで接続機器数を増やしていくことができます。がこのような接続の場合、一般的な問題としてシステムの動作が不安定となる場合がありますので、ご注意ください。
本スキャナを接続可能なハブには、一般的にＡＣ電源から電源を供給する必要があります。また、ＰＣ電源がオンの状態でＰＣとハブを接続し、その後にハブのＡＣ電源をオンするとスキャナが正常に動作しない場合がありますので､ハブのＡＣ電源はＰＣの電源をオンする前か同時にオンしてください。

●スキャナの接続後にキーボードから正常に入力できない。
・ＭＳ－Ｗｉｎｄｏｗｓ２０００等では､ＯＳ側の原因により、マイクロソフト社が配布するサービスパック等のインストールによってＯＳのアップデートを行わないと正常

に動作しないことがあります。マイクロソフト社のホームページでＯＳのアップデート情報を確認の上、必要に応じてＯＳのアップデートを行って下さい。

●スキャナを接続すると動作が不安定となる。
・本スキャナは、出来る限りハブを介さずにＰＣへ直接接続して下さい。

●ラベルの読み取りができない。
・読み取るバーコードラベルが”読み取り許可”設定であることを確認してください。
・”Ｃ／Ｄ照合する”の設定になっている場合は、Ｃ／Ｄ付きのラベルのみ読み取ります。Ｃ／Ｄの設定をご確認下さい。

●スキャナからＰＣへデータ送信時、桁落ちが発生する。
・ＩＴＦ及びＳＴＦラベルはバーコードの構造上桁落ちが発生することがあります。
読み取りラベルがＩＴＦまたはＳＴＦの場合は、最小桁数設定、または読み取り許可桁数の自動桁数設定を行って下さい。
（例）読み取りラベルがＩＴＦ（１２桁）の場合、読み取り最小桁数の設定を”１２桁”に設定して下さい。
この設定により、桁落ちを防止することが可能です。
（例）読み取り許可桁数の自動設定
本取扱説明書（３２，３４頁）にて､”ラベルによる桁数自動設定”に設定します。
この設定にすることで、電源を立ち上げてから１番目と２番目に読み取ったラベルの桁数のみ読み取ります。

●読み取りデータの表示がおかしい。

・数キャラクタの表示がおかしい場合
国別設定を変更します。
ご使用のキーボードとスキャナの設定が違うと正常データを入力できません。

・英字等が正常に表示されない。
スキャナ使用時には半角英数字入力モードにして下さい。日本語入力等が動作していると英字等が正常に表示されません。
（例）半角英数字モード　　　ABC123
　　日本語入力ＦＥＰ動作時　あＢＣ１２３

・キーボード上に無いＡＳＣＩＩコード（制御コード）は送信出来ません。
ＣＯＤＥ１２８、ＣＯＤＥ９３ ＦＵＬＬ ＡＳＣＩＩに含まれる以下の「送信不可」の制御コードは読み取らないで下さい。

00h（NULL）	送信不可
01h（SOH）	送信不可
02h（STX）	送信不可
03h（ETX）	送信不可
04h（EOT）	送信不可
05h（ENQ）	送信不可
06h（ACK）	送信不可
07h（BEL）	送信不可
08h（BS）	BackSpace ｷｰ
09h（HT）	TAB ｷｰ
0Ah（LF）	送信不可
0Bh（VT）	送信不可
0Ch（FF）	送信不可
0Dh（CR）	ENTER ｷｰ
0Eh（SO）	送信不可
0Fh（SI）	送信不可
10h（DLE）	送信不可
11h（DC1）	送信不可
12h（DC2）	送信不可
13h（DC3）	送信不可
14h（DC4）	送信不可
15h（NAK）	送信不可
16h（SYN）	送信不可
17h（ETB）	送信不可
18h（CAN）	送信不可
19h（EM）	送信不可
1Ah（SUB）	送信不可
1Bh（ESC）	ESC ｷｰ
1Ch（FS）	送信不可
1Dh（GS）	送信不可
1Eh（RS）	送信不可
1Fh（US）	送信不可
7Fh（DEL）	送信不可

●ケーブルの状態により読み取り可能となったりする。

・ケーブルの断線の可能性があります。
弊社担当者までご連絡下さい。

●パラメータ設定が行えない、パラメータ変更が有効とならない。

・パラメータ変更を行った後は、”設定終了ラベル”を読み取ることで不揮発生メモリーに書き込まれます。
設定終了ラベルを読みとらずに、設定ラベル以外のラベルの読み取りをしたり、電源ＯＦＦすると、変更したパラメータ内容は破棄されます。

●どうしても解決できない時は…

・前述のトラブルシューティングにて解決できない場合は、弊社担当者までご連絡下さい。
その時には、事前に次のことを確認して担当者にお伝えください。

・スキャナの型名とシリアルＮｏ．(スキャナ下面のラベルに記載されています)
(例)　ＰＤＣ－０１８－０６０－ＵＰ
SER.No　380001

・接続されているＰＣ機種名（メーカ名）
(例)　Panasonic　PRO NOTE CF-27

・ＰＣ上で使用されているＯＳ及びアプリケーションソフト
(例) ＯＳ：MS-WindowsXP　Professional
アプリケーション：Excel2002

・現象（何が起こりましたか？読み取ったラベル、画面上に表示されたデータは何ですか？）
(例) ①バーコード（種類：ＣＯＤＥ３９データ”ＡＢＣＤ”）を読み取ると､データ”Ｂ”が表示されない。ＰＣ画面上データ”ＡＣＤ”
②バーコード（種類：ＩＴＦデータ”29121069”）を読み取るとＰＣ画面上に何も表示されない。バーコードの読み取り完了ブザーは鳴動する。

・再現性（何度やっても発生しますか）
(例) ①１０回読み取り操作を行い、そのうち２回で現象が発生した。
②何度やっても発生する。
③再現しない。

１０　テストラベル

ＥＡＮ－１３

ＥＡＮ－８

ＵＰＣ－Ａ

ＵＰＣ－Ｅ

ＥＡＮ－１３（ 2 add on）

ＵＰＣ－Ａ（ 5 add on）

ＮＷ－７（CODABAR）no Ｃ／Ｄ

ＮＷ－７（CODABAR）with Ｃ／Ｄ

CODE39 no C／D

CODE39 with C／D

Interleaved 2 of 5　no C／D

Interleaved 2 of 5　with C／D

Industrial 2 of 5 no C／D

Industrial 2 of 5 with C／D

CODE93

CODE128

１１　お問い合わせは

日本システム開発株式会社

本社
〒550-0013
大阪市西区新町１丁目７番２０号
システムギア大阪ビル
TEL　06-4391-9880　FAX　06-4391-9878

営業拠点

東京
〒105-0014
東京都港区芝１丁目１０番１１号
コスモ金杉橋２Ｆ
TEL　03-5730-1200　FAX　03-5730-1201

名古屋
〒460-0002
名古屋市中区丸の内２丁目１０番１９号
市川ビル４Ｆ
TEL　052-221-9388　FAX　052-212-4403

大阪
〒550-0013
大阪市西区新町１丁目７番２０号
システムギア大阪ビル
TEL　06-4391-9881　FAX　06-4391-9879

宝塚
〒665-0045
宝塚市光明町３０番１２号
TEL　0797-74-2201　FAX　0797-74-2211

福岡
〒812-0014
福岡市博多区比恵町３丁目１７号
フェイズイン博多ビル２Ｆ
TEL　092-432-2130　FAX　092-432-2136

技術的なお問い合わせは
サポートデスク
　E-MAIL：support@nsd-inc.co.jp

最新情報はインターネットをご覧ください
　http://www.systemgear.com